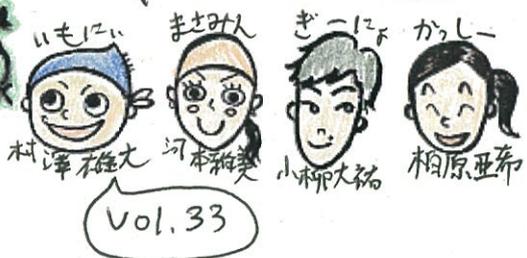


ありが隊新聞



今月から文字を手書き→パソコン文字に変更しました。よろしければご意見頂けると嬉しいです♪



『ゆずぼうや』が表彰台にあがりました！！
 12月14日(月)に、飯田合同庁舎で【地域発元気づくり支援金優良事業表彰式】が行われ、平成26年度事業として作成した『ゆずを被って袖子里愛！ゆずのかぶり物をかぶってかぶって袖子を売って村を救え！』が「地方事務所特別賞」を頂きました！！
 天龍村の特産「ゆず」をイメージし作成した袖子の被り物を制作し、イベントの来場者等にPR活動を展開してきました。地方事務所からは「被り物を着用してヒッチハイクや地下鉄などで移動しながら村のPRを行う、

非常に斬新な発想であり、その様子をSNS等へ投稿するPR方法はこれまで行政機関にない新たな情報発信方法である」と評価をいただきました。

今後も、今まで以上に袖子の被り物を活用しながら天龍村をPR出来るよう、ありが隊一丸となって頑張っていきたいと思えます！また、この被り物は役場に保管してありますので、ご興味ある方はぜひ一度被ってみてはいかがでしょうか。ハマりますよ！

かっしー(柏原亜希)

袖子の物販に行ってきました！！

12月16日(水)に飯田合同庁舎で物販をしてきました♪♪

今回は、旬な食材、天龍村の【ゆず】を使って全面的にPR。普通のゆずを3カゴ、小ぶりの花袖子を5カゴ持って行ったところ、大好評！みなさん大量に購入して行って下さいました！

このゆずは、先月のありが隊新聞で、「余ったゆずありませんか？」という私の呼びかけに、多くの方から「ゆずあるよ！採りにおいで」とご連絡を頂いたもので、各お宅で収穫させて頂いたゆずを使用しています。



今回集めさせて頂いたゆずの量や用途などは、集計後にまた改めてご報告をしたいと考えています。

購入して下さった人の中には、「昨年も天龍村のゆずを買ったの。とっても良かったから今日はゆずが買えるのを楽しみにしてたのよ！」と言いながら、目を輝かせて沢山購入してくれる人もいました。その他にも袖餅子・ゆず胡椒・ゆず果汁・ゆず醤油などなど、ゆずを使った商品が飛ぶように売れていきました。天龍のゆずを喜んで頂けて、本当に嬉しかったです！！

かっしー(柏原亜希)

豆部×天龍小2年生～まぼろしの大豆プロジェクト～



無事に脱穀を終えた2年生の大豆プロジェクト。こだわり屋さんの2年生達は、きな粉を作るのにも石うすを使用！太田の大杉先生に石臼を準備していただき、小学校に来てもらい、きな粉作りを教えてくださいました！

僕自身もきな粉を作ったのは生まれて初めてで、さらに石臼で引いたきな粉なんて生まれて初めて食べました！手作りのきな粉の美味しさを知る事ができて本当に幸せ。

2年生が作ったきな粉は小学校の行事『おやす・しめ 縄・餅つき大会』にて振舞われ、多くの方に食べてもらいました！今後も味噌や、豆腐、納豆などにしていきたい様子の2年生！どんな味になるのか今から楽しみ！村のケーブルTV122chで活動の様子を放映していますので、よかったらご覧になってみて下さい。



いも兄（村澤雄大）

～時雨月の自力整体～ まさみん(河本雅美)

☆今回一番うれしかった感想です！！

+

「私、自力整体をやってあと30年は長生きするわよ～～」

(by 80代女性) のお一言です。

からだも車と同じで、お手入れすればするほど乗り心地・生き心地が良くなると信じています。前向きな気持ちに私もとても元気をいただきました(^^)

11/24(火): 中井侍、松島 11/26(木): 向方 12/7(木): 大河内 12/8(金): 梨畑で開催
5会場で合計36名の方に参加いただきました。



来年も村内各所で自力整体を行い、皆さんに更に健康で長生きしていただきたいと思います。少人数のグループでもこちらから伺いますので、ご希望の方は「河本: 電話090-2938-4658」までご連絡下さい。みなさんのご参加お待ちしております！！

東京に行き、初任者研修を受けてきました！

12月17日(木)～18日(金)、東京で地域おこし協力隊1年目の人を対象とした研修会に、小柳(ぎーによ)と柏原(かっしー)が参加してきました。北海道から沖縄まで全国から150名が参加し、それぞれの活動、悩み、上手くいったことを共有し、交流を深めることができました。



印象に残ったことは兵庫県の朝来市でした。協力隊として活動する上で、「したいこと・できること・しなければいけないこと」の3つが必要と言っていました。私自身も役場や住民と、今必要なことと自分がやりたいこと、できることをすり合わせる必要があると感じました。

ぎーによ (小柳大祐)

岡山県 西粟倉村(株)森の学校へ行ってきました！！



11月19日(木)～21日(土)にかけて岡山県北西部 兵庫県と鳥取県に面する西粟倉(にしあわくら)村に行きました。目的はそこで地域おこし協力隊の採用から村内の間伐材の加工利用まで幅広く行っている株式会社 森の学校の研修会に参加するためです。

西粟倉村は人口が約1,500人、村面積の90%以上が森林と天龍村と非常に似た環境です。しかし移住者は年々増加し、新たに13社が起業しております。そういった背景には何があるのか、そして森林をいかにして活用しているのかというのを学ぶことができました。



森の学校は役場の雇用対策委員会からスタートしました。現在は地域おこし協力隊の採用と木材、主に間伐材を利用した加工商品を販売することで利益を出しています。雇用対策委員会からスタートしたこともあり、「人材」の確保には非常に力を入れていました。



採用前には地域で新しい仕事を始めて行くためにどのようなプラン、マインド、コンセプト、目標があるのかしっかりと定めた上で、協力隊は3年間で徹底的に好きなことをやるという考えを持っていました。地域資源があるから何かをする、それを活かすと捉えるのではなく、何かをやりたいという想いのもとチャレンジしていく方がより可能性を引き出すとして、協力隊の皆様は積極的に、そして何より楽しそうに活動していました。

私はこれまで「天龍村が元気になるためには」を前提に活動を行ってきました(上手くいったかどうかに関わらず)が、それが重荷になり活動を楽しめていないことに気づきました。今回の研修で気分を変え、もっと自分が楽しめることをしよう、その結果、ちょっとは天龍村が元気になるべいいな、そう思えるような出張となりました。

ぎーによ (小柳大祐)



～2015 大河内雑穀プロジェクト～

まさみん(河本雅美)



大河内雑穀プロジェクトで今年収穫された雑穀を使って、園児さんたちと雑穀メンバーのおかあさんたちと一緒に雑穀ドーナツ作りをしました。原材料は、天龍村産にこだわり「くるみ、干し柿」を使い、卵、乳製品、お砂糖不使用のからだに優しいおやつです。雑穀を知らない園児さんたちに、

☆雑穀はお米のおともだち！！

☆桃太郎さんが食べていたきび団子も雑穀！とお話させて頂きました。



東京出張 未来食堂で村PR&武蔵野大学「じゅんぐり祭」



12月11日(金)

飲食業界で話題沸騰中である、東京神保町の「未来食堂」さんにて、1日限定で天龍村食材を提供させていただきました。蒸し鶏に柚子胡椒をつけて食べてもらい、村のジャム8種類から好きなジャムを選んでもらってデザートにしたり、ヤツガシラに柚子味噌を付けてお出しました！東京にお住いの天龍村出身の方も駆けつけてくれて本当に感謝しております。



12月12日(土)

現在、来村回数がダントツで多い武蔵野大学環境学部の学祭「じゅんぐり祭」に参加して来ました。物販では関東在住の天龍村ファンの子達が手伝いに駆けつけてくれ、旬の村の柚子と柚子製品を中心に販売。山で拾った胡桃は量り売りしてみました。今回は、物販だけでなく、トークセッションにも呼んでいただき「これからの地域」というテーマでお話して来ました。地域に移住するには「その地域のファンになる事がまず必要である。」と語った武蔵野大学生達は「自分達が天龍村のファンであり、卒業後は

天龍村に行きます。」と力強く話してくれました。自分ができる仕事はこういった若者を少しずつ増やしていくことであると再確認できました。

いも兄(村澤雄大)

